

教育原理

第5テーマ 教育とは何か(3)

教育と社会的能力

本題へ

【重要】

本テーマも理論系の内容である。

与えられた情報を「記憶する」のではなく、
「理屈で解る」＝「理解する」ことを求める。

本テーマは、第3, 4テーマの内容を前提とする。
両テーマの要点を理解できていれば、このテーマ
は内容的にも文量的にも大きな負担にはならない。

第5テーマ 教育と社会的能力

0 本テーマの導入

I 教育の意味と目的③

1 ヒトと人間、そして教育

2 野生児の事例



第5テーマ 教育と社会的能力

0 本テーマの導入

I 教育の意味と目的③

1 ヒトと人間、そして教育

2 野生児の事例



第5テーマ 教育と社会的能力

0 本テーマの導入

I 教育の意味と目的③

- 1 ヒトと人間、そして教育
- 2 野生児の事例



第4テーマの「教」の教育観！

本テーマの要点

☆以下の文章の意味を説明せよ。

・「人間は**教育**によって初めて**人間**となることができる」



これに尽きる。
これをよく説明できれば、本テーマの理解は
十全である。

第5テーマ 教育と社会的能力

☆レジュメ0 各問



第5テーマ 教育と社会的能力

☆レジュメ0 各問



(……答え中……)

第5テーマ 教育と社会的能力

☆レジュメ0 各問



⑤、⑦、⑧、⑨は本テーマ以後で学ぶ。

第5テーマ 教育と社会的能力



【重要】

☆教育は、人の成長発達を支援する営みである。

☆教育には、学習者の個性・興味・関心などを重視しそれを育むという考え方・立場と、教育者が一定の内容を速く、効率的に「教え込む」という考え方・立場がある。（「育」と「教」）

☆「教え込まれる」のは、一般に、社会のルール・マナー、文化、道徳、歴史などである。

第5テーマ 教育と社会的能力



【重要】

☆教育は、人の成長発達を支援する営みである。

☆教育には、学習者の個性などを育てるものと、教育者がルールやマナーを「教え込む」ものがある。

第5テーマ 教育と社会的能力



【重要】

☆教育は、人の成長発達を支援する営みである。

☆教育には、学習者の個性などを育てるものと、教育者がルールやマナーを「教え込む」ものがある。



どうして、個性を尊重する教育だけではいけないの？

第5テーマ 教育と社会的能力



【重要】

☆教育は、人の成長発達を支援する営みである。

☆教育には、学習者の個性などを育てるものと、教育者がルールやマナーを「教え込む」ものがある。

A brown cartoon bear standing on the left side of the slide, holding a large yellow sun above its head. The bear has a friendly expression and is looking towards the right.

【結論】 「個人にも社会にも必要であるから」

5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

☆は、最終的に自分で穴埋めをする
(例年通り)。解答は示さない。



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

※「ヒト」と「人間」の違い



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

①ヒト

「動物としての我々」



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

①ヒト

「動物としての我々」



「ヒト」=ある一種の動物



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

①ヒト

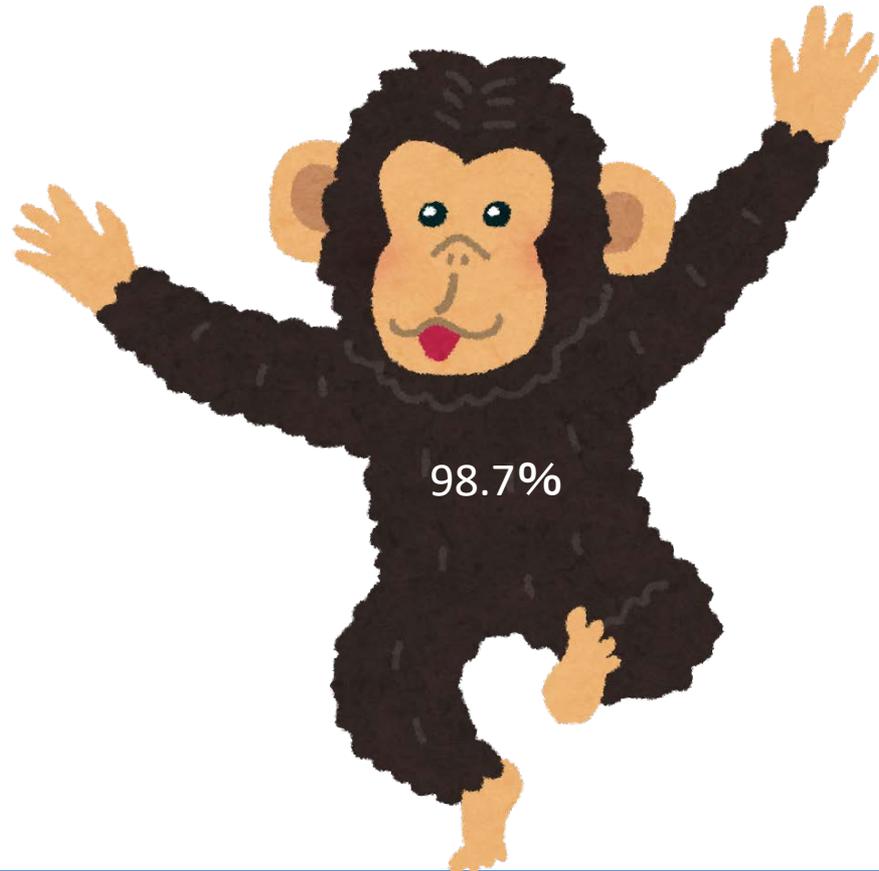


5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

①ヒト……哺乳綱霊長目(略)ヒト科ヒト属

チンパンジー……霊長目ヒト科チンパンジー亜属

チンパンジー属

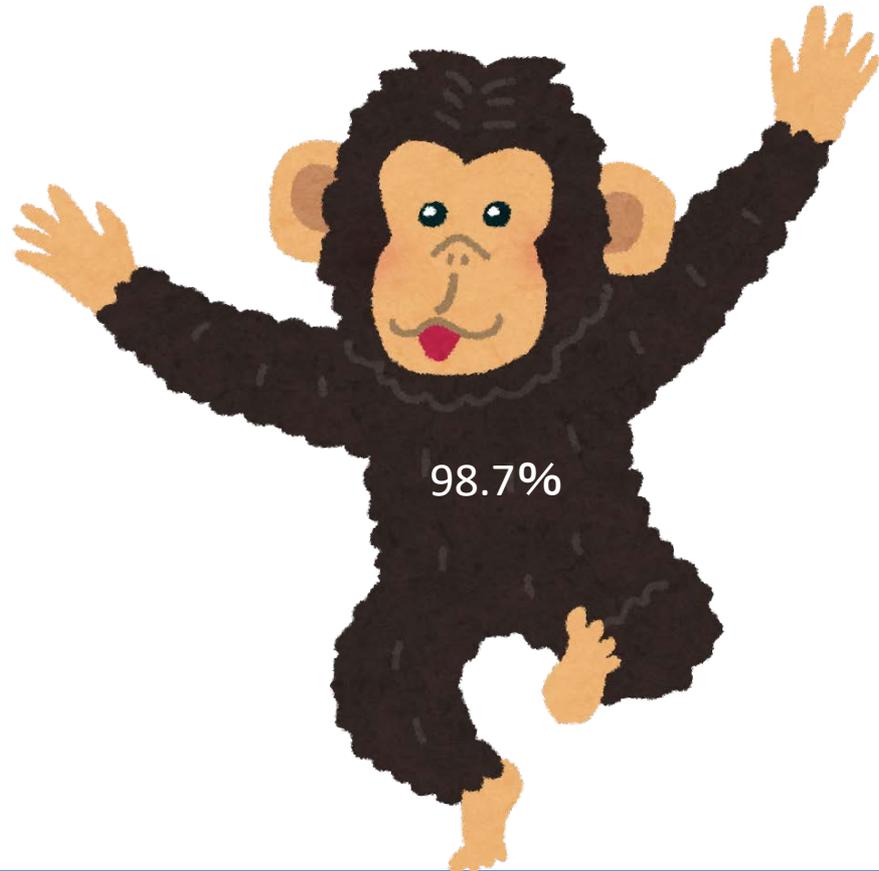


5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

①ヒト……哺乳綱霊長目(略)ヒト科ヒト属

チンパンジー……霊長目ヒト科チンパンジー亜属

チンパンジー属

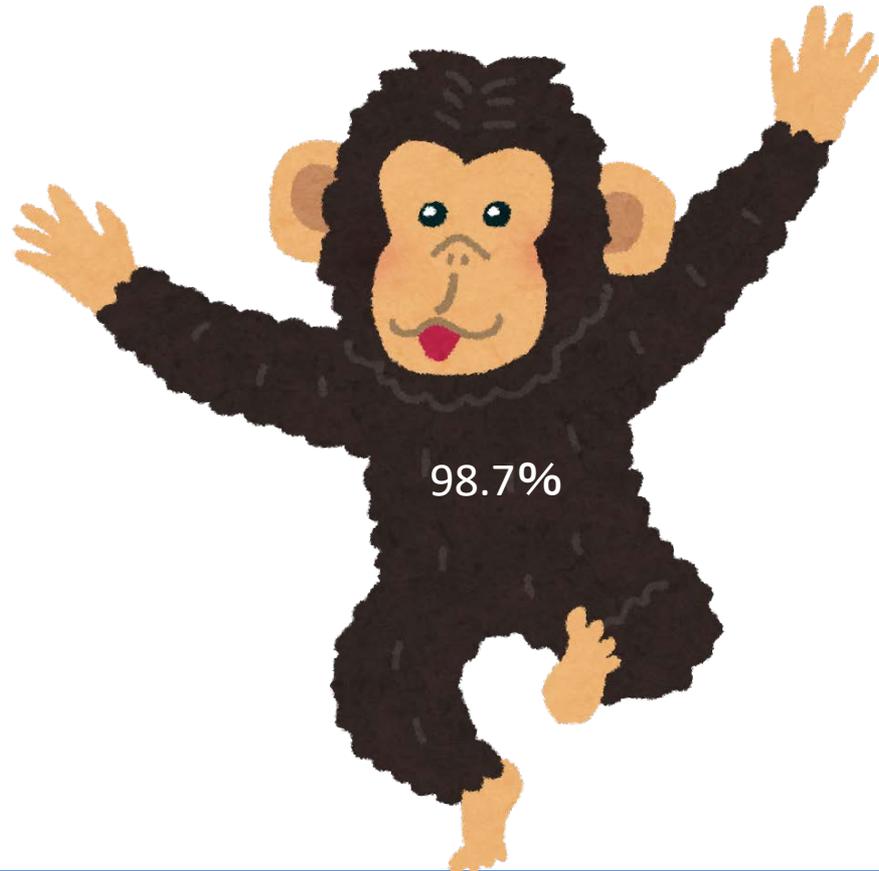


5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

①ヒト……哺乳綱霊長目(略)ヒト科ヒト属

チンパンジー……霊長目ヒト科チンパンジー亜属

チンパンジー属



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

①ヒト……哺乳綱霊長目(略)ヒト科ヒト属



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

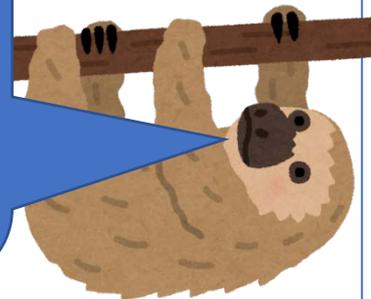
①ヒト……哺乳綱霊長目(略)ヒト科ヒト属

チンパンジー……霊長目ヒト科チンパンジー亜属

チンパンジー属

【キーワード】

「社会的生物」・「社会的能力」



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

②人間＝社会的生物



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人



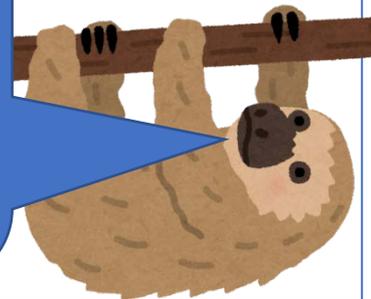
5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人

→「社会的能力」を身に付けたヒト

「社会的能力を身に付けたヒト」
＝社会的生物
＝人間



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人

→「社会的能力」を身に付けたヒト

※「この力がないと社会で生きられない」、
「この力があるほうが社会で生きやすい」能力とは？



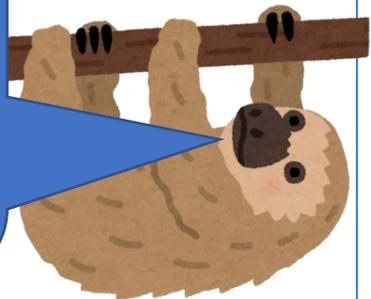
5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人

→「社会的能力」を身に付けたヒト

(.....考え中.....)



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人

→「社会的能力」を身に付けたヒト

【社会的能力の例】

・読み書き、会話能力、計算能力、社会のルール・マナー（作法）、文化、伝統、道徳など



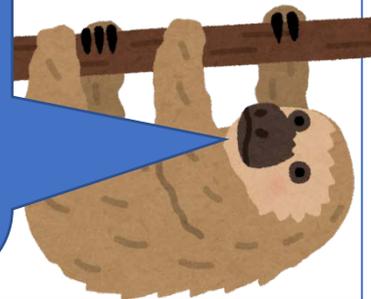
5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人

→「社会的能力」を身に付けたヒト

社会のルール・マナー等を身に付けていないと、社会生活へ適合することが難しい。



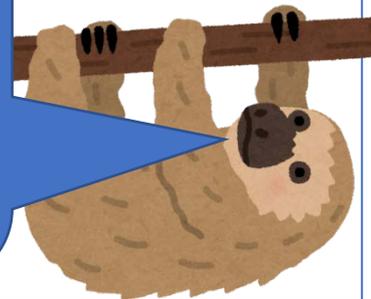
5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人

→「社会的能力」を身に付けたヒト

文化、伝統、道徳などは、「社会秩序」
の維持、および、個人の社会への帰属
に必要である。



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人

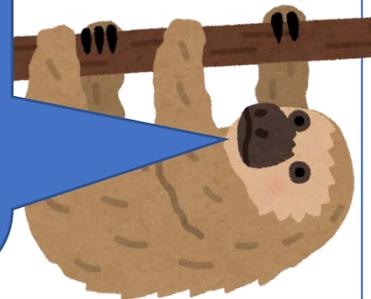
→「社会的能力」を身に付けたヒト

【重要】

・社会のルール・マナー、文化の修得

→個人にとって必要

→社会秩序の維持に必要



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人

→「社会的能力」を身に付けたヒト

【参考】 保育者の社会的能力？

- ・言語能力
- ・適切な身なりや言葉遣い
- ・道徳・職業倫理



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

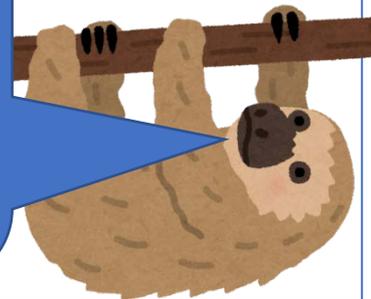
②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人

→「社会的能力」を身に付けたヒト

【重要な問】

では、「社会的能力」は生まれつき
自然に身につく能力であるか。



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

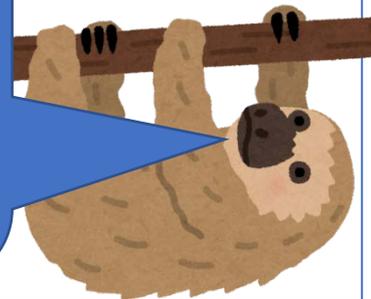
②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人

→「社会的能力」を身に付けたヒト

【重要な問】

生物学上「ヒト」として生まれれば、
自然に「社会的能力」を身に付けたヒト
＝社会的生物＝「人間」になるのか。



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育

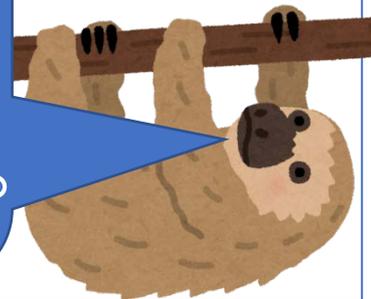
②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人

→「社会的能力」を身に付けたヒト

【重要な仮定】

生後すぐにジャングルに放置された「ヒト」は「社会的生物」として成長するか。



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育



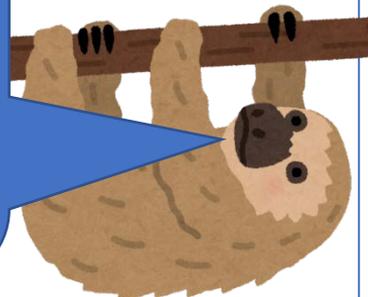
②人間＝社会的生物

→社会を構成しその中で生きていける個人

→「社会的能力」を身に付けたヒト

【重要な問】

ヒトは自ら成長発達する力を有する.....
が、社会的能力も自然に獲得するか。



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育



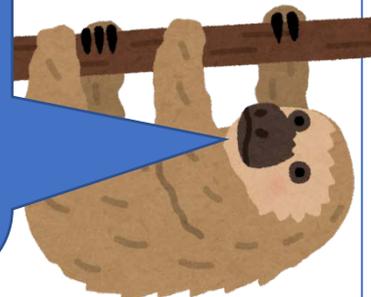
【重要】

☆ヒトは自ら成長発達する力を有している。

☆「社会的能力」は、その自然な成長発達によって獲得される能力ではない。

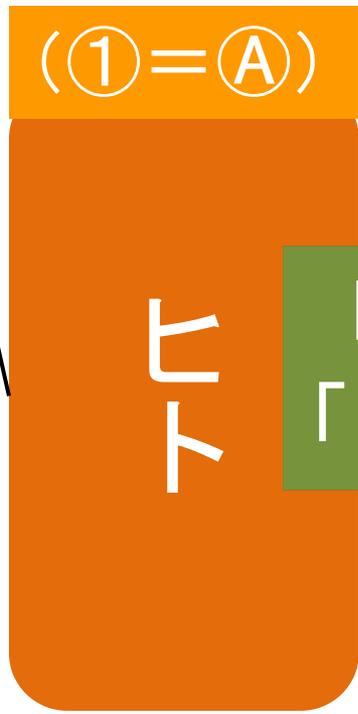
【重要な問】

では、社会的能力はどのようにして獲得されるか。



※「ヒト」と「人間」の違い

（生まれつきの、ヒトとしての生物）



「ヒト」は、自然と「人間」になるか？



産まれた後で
社会的能力を身につけたヒト

【重要】 ヒトは、社会的能力を生まれつき身につけていない

5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育



【重要】

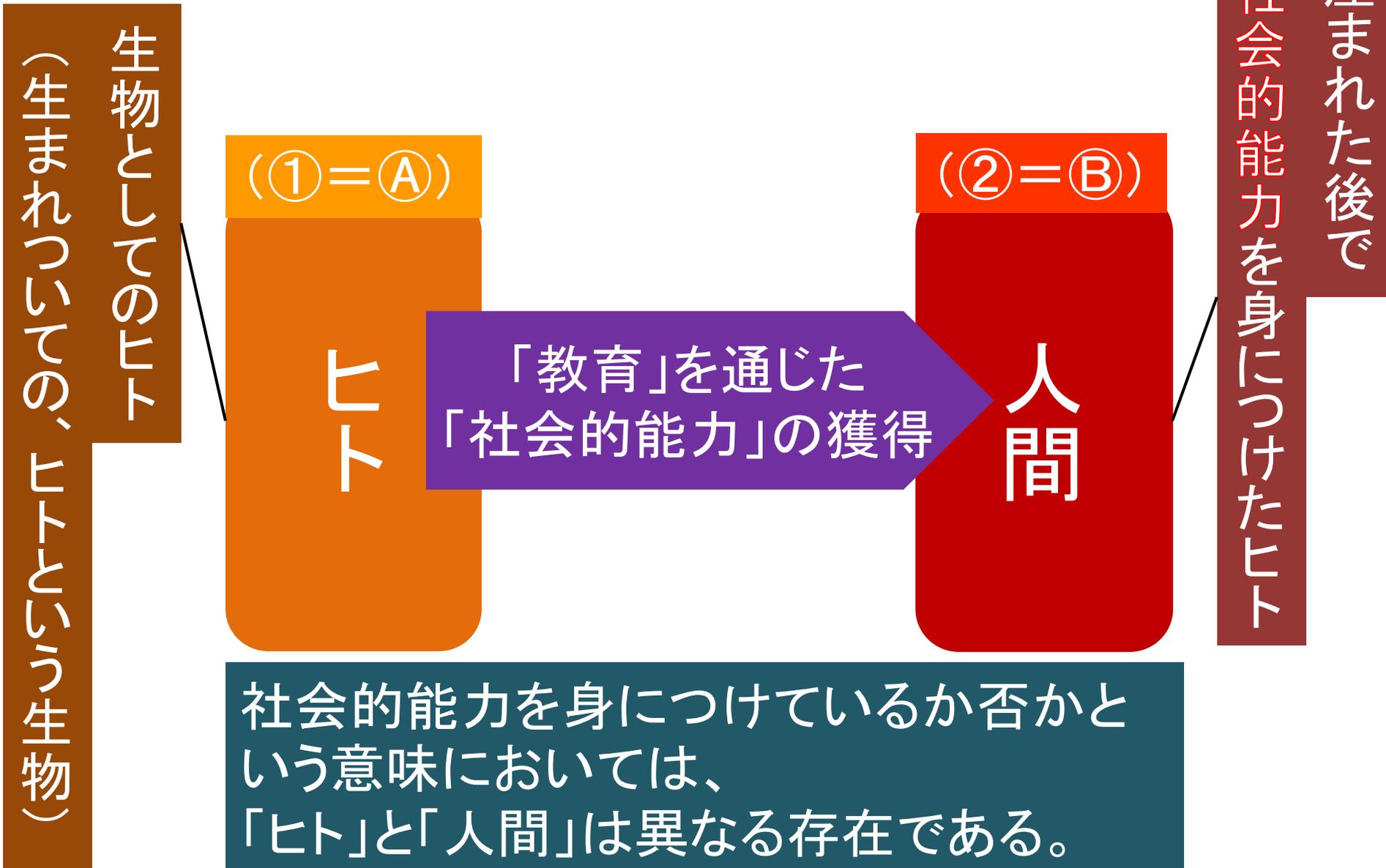
☆ヒトは自ら成長発達する力を有している。

☆「社会的能力」は、その自然な成長発達によって獲得される能力ではない。

→社会的能力は、生まれた後、外部からの働きかけ
＝教育などを通じて獲得される。



※「ヒト」と「人間」の違い



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育



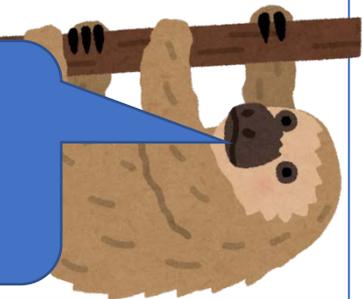
【重要】

☆ヒトは自ら成長発達する力を有している。

☆「社会的能力」は、その自然な成長発達によって獲得される能力ではない。

→社会的能力は、生まれた後、外部からの働きかけ＝**教育**などを通じて獲得される。

【重要】では、この教育とは一般にどのようなかたちを取るか。



子どもの個性を慈しみ育む教育は？



【重要】

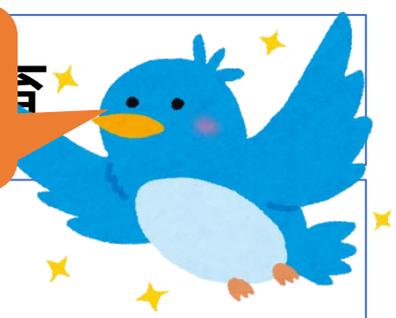
☆ヒトは自ら成長発達する力を有している。

☆「社会的能力」は、その自然な成長発達によって獲得される能力ではない。

→社会的能力は、生まれた後、外部からの働きかけ＝**教育**などを通じて獲得される。



速さ・効率性を重視する教育は？



【重要】

☆ヒトは自ら成長発達する力を有している。

☆「社会的能力」は、その自然な成長発達によって獲得される能力ではない。

→社会的能力は、生まれた後、外部からの働きかけ
＝**教育**などを通じて獲得される。



5 - I - 1 ヒトと人間、そして教育



【重要、この部分のまとめ】

☆ヒトは自ら成長発達する力を有している。

☆「社会的能力」は、その自然な成長発達によって獲得される能力ではない。

→社会的能力は、生まれた後、外部からの働きかけ＝**教育**などを通じて獲得される。

→こうした教育は速さと効率性を重視して行われる。



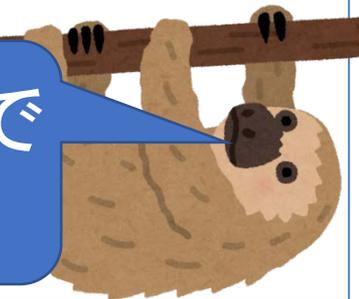
5 - 1 - 2 野生児の事例



5 - 1 - 2 野生児の事例



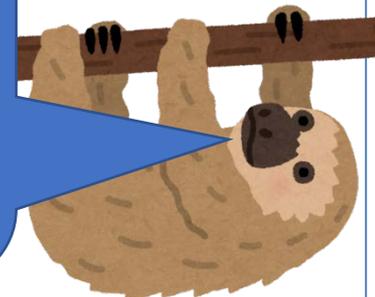
例年は、ここから事例を写真・ビデオ等で見てきた。



5 - 1 - 2 野生児の事例



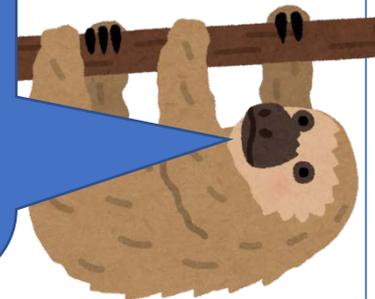
つまり、「人間社会における教育」を経ないと「社会的能力は身につかない」という命題を、事例から確認するという意図があった。



5 - 1 - 2 野生児の事例



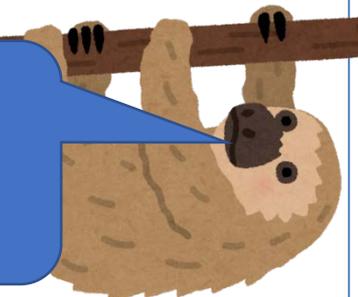
今回は、自分の興味関心に応じて、各自最低一つは検索してほしい。「インド アマラとカマラ」、「アヴェロン ヴィクトール」などと調べれば大要は分かる。



5 - 1 - 2 野生児の事例



レジューメの穴埋めは、以下に示す。



5 - 1 - 2 野生児の事例



※「野生児」とは？

……何らかの要因で、(人間社会)から離れた状態で成長した子どものこと

→主な「要因」

- ①(動物)に育てられた。
- ②(孤独)な状態において生活した。
- ③監禁された状態などにおいて生活した。

……これらの要因により、野生児は、人間社会と関わりをもたずに成長する。



5 - 1 - 2 野生児の事例



※「野生児」とは？

……何らかの要因で、(人間社会)から離れた状態で成長した子どものこと

……これらの要因により、野生児は人間社会と関わりをもたずに成長する。

→野生児は、(人間)の手による(教育)を受けられる機会を得ずに成長することになる。



このような「人間の教育を受けなかった」
事例を最低一つ学んで欲しい。

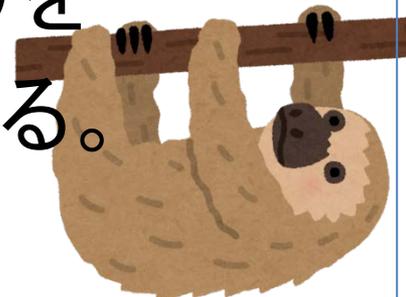


※「野生児」とは？

……何らかの要因で、（人間社会）から離れた
状態で成長した子どものこと

……これらの要因により、野生児は人間社会と
関わりをもたずに成長する。

→野生児は、（人間）の手による（教育）を
受ける機会を得ずに成長することになる。



彼・彼女らは「社会的能力」を
身に付けていたか。

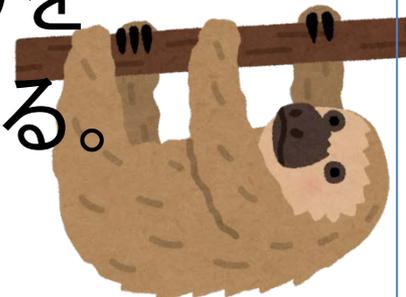


※「野生児」とは？

……何らかの要因で、（人間社会）から離れた
状態で成長した子どものこと

……これらの要因により、野生児は人間社会と
関わりをもたずに成長する。

→野生児は、（人間）の手による（教育）を
受ける機会を得ずに成長することになる。



そして、人間社会に「復帰」してから、「社会的能力」を獲得できたか否か。

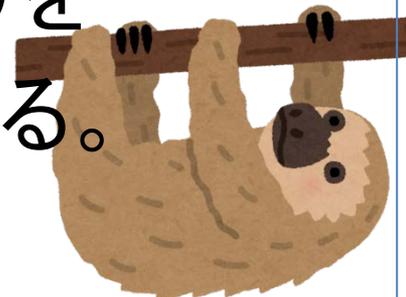


※「野生児」とは？

……何らかの要因で、（人間社会）から離れた状態で成長した子どものこと

……これらの要因により、野生児は人間社会と関わりをもたずに成長する。

→野生児は、（人間）の手による（教育）を受けられる機会を得ずに成長することになる。



獲得できた能力と、獲得できなかった能力は？

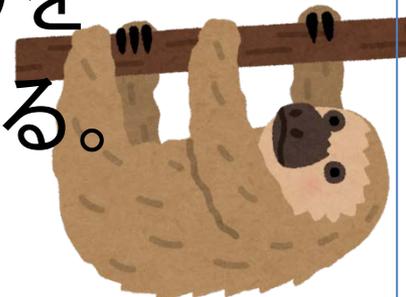


※「野生児」とは？

……何らかの要因で、(人間社会)から離れた状態で成長した子どものこと

……これらの要因により、野生児は人間社会と関わりをもたずに成長する。

→野生児は、(人間)の手による(教育)を受けられる機会を得ずに成長することになる。



5 - 1 - 2 野生児の事例



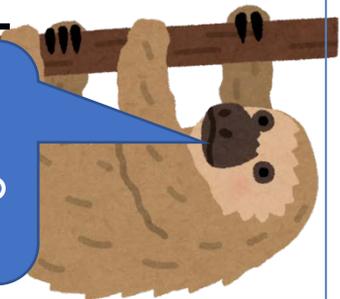
※「野生児」とは？

……何らかの要因で、(人間社会)から離れた状態で成長した子どものこと

……これらの要因により、野生児は人間社会と関わりをもたずに成長する。

→野生児は、(人間)の手による(教育)を

続けて、レジューメの穴埋めを以下に示す。



5 - 1 - 2 野生児の事例



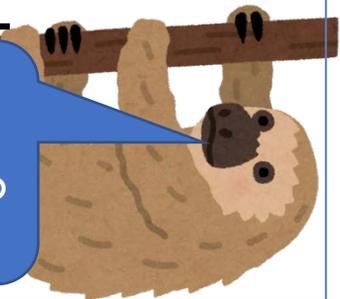
※「野生児」とは？

……何らかの要因で、(人間社会)から離れた状態で成長した子どものこと

……これらの要因により、野生児は人間社会と関わりをもたずに成長する。

→野生児は、(人間)の手による(教育)を

続けて、レジユメの穴埋めを以下に示す。



5 - 1 - 2 野生児の事例



【参考】

☆：自分で記入する。



5 - 1 - 2 野生児の事例



【参考】

- ・人間の成長には……。

【キーワード】

子ども、環境、乳幼児、教育



5 - 1 - 2 野生児の事例



☆生物学上の(ヒト)が、様々な能力(特に、**社会的**能力を身につけた存在という意味での(人間)となるためには、(人間による)(**教育**)が必要である。

・人間の成長には、(子ども)の時期、特に(**乳幼児**)の時期における**教育**が重要である。

→子どもは、(適切な**環境**)において(人間の手による**教育**)を受けなければならない。



5 - 1 - 2 野生児の事例



【重要】

※乳幼児期に人間の手による教育を受けなかった場合、育ちにくい能力は？

【手がかり】 たとえば、ヴィクトールは、11歳前後で保護されて教育を受けたが、〇〇の能力はまったく身に付けることができなかった。
一定のマナーは身に付けられたという。



5 - 1 - 2 野生児の事例



【この部分のまとめ】

- ・ヒトは、生まれつき社会的能力を持っていない。
- ・ヒトは、生まれた後で、教育を受けて、読み書き、ルール・マナー等の社会的能力を身に付ける。
- ・社会的能力を身に付けたヒトを、社会的生物としての「人間」と考える。



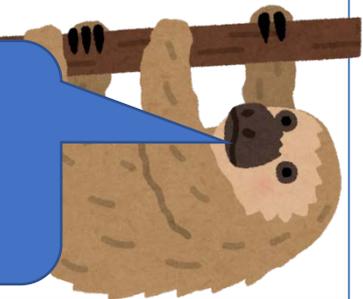
5 - 1 - 2 野生児の事例



【この部分のまとめ】

- ・ヒトは、生まれつき社会的能力を持っていない。
- ・ヒトは、生まれた後で、教育を受けて、読み書き、ルール・マナー等の社会的能力を身に付ける。
- ・社会的能力を身に付けたヒトを、社会的生物としての「人間」と考える。

これを踏まえて、レジュメp.2の「カントの言葉」へ移る。



I. カントの言葉



・「人間は()されなければならない
唯一の被造物である」

・「人間は()によって初めて()と
なることができる」



I. カントの言葉



・「人間は()されなければならない
唯一の被造物である」

・「人間は()によって初めて()と
なることができる」



I. カントの言葉



・「人間は**教育**されなければならない
唯一の被造物である」

・「人間は()によって初めて()と
なることができる」



I. カントの言葉



・「人間は**教育**されなければならない
唯一の被造物である」

・「人間は()によって初めて()と
なることができる」



I. カントの言葉



・「人間は**教育**されなければならない
唯一の被造物である」

・「人間は()によって初めて()と
なることができる」



I. カントの言葉



- ・「人間は**教育**されなければならない
唯一の被造物である」
- ・「人間は**教育**によって初めて**人間**と
なることができる」



I. カントの言葉



・「人間は**教育**されなければならない
唯一の被造物である」

・「人間は**教育**によって初めて**人間**と
なることができる」

【重要】 すなわち、教育には、「社会的能力」の
修得という機能がある。



I. カントの言葉



・「人間は**教育**されなければならない
唯一の被造物である」

・「人間は**教育**によって初めて**人間**と
なることができる」

【重要】 当然、保育者が行う教育にも、
「社会的能力」の修得という機能はある。



I. カントの言葉



・「人間は**教育**されなければならない
唯一の被造物である」

・「人間は**教育**によって初めて**人間**と
なることができる」

【重要】そして、「社会的能力」の修得は、
しばしば「注入」というかたちを取る。

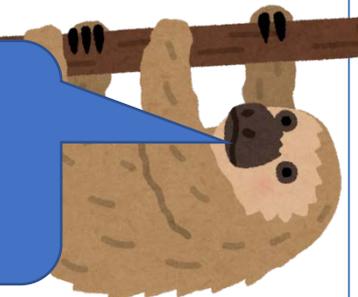


I. カントの言葉



- ・「人間は**教育**されなければならない
唯一の被造物である」
- ・「人間は**教育**によって初めて**人間**と
なることができる」

【重要】ここで、第4テーマの「『教』を
強調した教育観」とつながる！

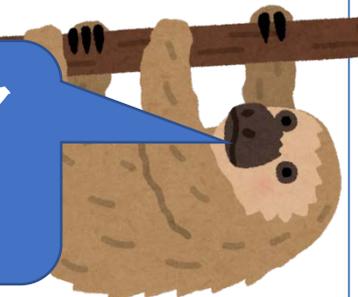


I. カントの言葉



- ・「人間は**教育**されなければならない
唯一の被造物である」
- ・「人間は**教育**によって初めて**人間**と
なることができる」

【重要】というように、第3～第6テーマの内容は、すべて「つながっている」。

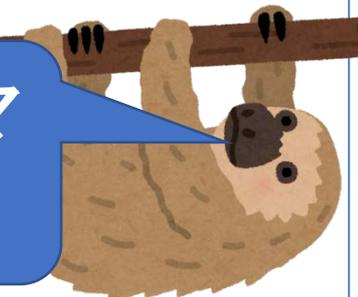


I. カントの言葉



- ・「人間は**教育**されなければならない
唯一の被造物である」
- ・「人間は**教育**によって初めて**人間**と
なることができる」

【重要】 次回の第6テーマは、第3テーマからの学びの「まとめ」となる。



本テーマの要点



☆以下の文章の意味を説明せよ。

・「人間は**教育**によって初めて**人間**となることができる」



本テーマの要点



- ・ヒトは生まれつき自然に成長発達する力を持つ。
- ・しかし、社会的能力は自然には修得されない。
- ・外部からの働きかけ(=教育)により社会的能力が身についていく。

・こうした教育は、教／育の側面が強い。
すなわち、 や を重視する教育である。



Moodleの小テストについて

※以上、第5テーマを終了とする。

- ・理論的な内容ではあるが、具体の教育・保育の基準や実践とも直接関わっている。

- ・Moodleの小テストは、第3～5テーマの復習を内容とする。

Moodleの小テストについて

- ・また、第3テーマで確認した教育の定義に基づき、教育のはたらきの一つ＝社会的能力の育成を理解することを求める。

教育そのものに関わる重要な内容である。

自己学習用の問(2)などは復習に有用である。

【重要】小テストの実施について

※大学の授業では、通学・オンラインに関係なく「自己学習」が重要な意味を持つ。

※「示された答えを憶える」というような意識では、保育者としての力は伸ばせない。

※実際の保育に、「模範解答」はあり得ない。

※基礎的な知識技術は必要であるが、それを元に現実の子ども・状況等を「考える力」が求められる。

おわりに

- ・先行き不透明であるが、「なすべきこと」をやっていきましょう。
- ・次回はそのまま第6テーマの学習をします。

